美しいまちづくりのために

かなざわ 景観 だより

創刊号

LANDSCAPE NEWS OF KANAZAWA

平成六年(一九九四)四月発行
■企画編集／景観だより編集委員会
■発行／金沢市広坂一丁目一一
金沢市都市政策部まちなみ対策課
(〇七六二)二二〇一三六四
■印刷／能登印刷株式会社

こまちなみに出会う

――昔も今も変わらぬ息づかい…――

城下町金沢には、貴重な歴史的建造物が今も数多く残っており、個性的な街並みに歴史と文化の彩りを添えています。「こまちなみ」とはそんな城下町らしい、ちょっとした良い街並みのことを言います。また、「こまちなみ」は単に街並みとして美しいだけではなく、そこに住む方々のいきいきとした生活の匂いの感じられる街並みでもあります。

旧観音町通り（かんのんまち）

旧観音町通りは、浅野川大橋から上流右岸側の東山一丁目地内の、浅野川大橋詰の広場から卯辰山山麓の観音院に至る通りで、町家形式の家屋が建ち並ぶ代表的な「こまちなみ」のひとつです。現在も通り沿面して、明治初期の建物も数多く、古くからの商店街としての雰囲気が色濃く残っている通りです。

通りの中には、街並みを特徴づけている建物がいくつかあります。

その一つである正田善嗣家は、「景観条例」に基づき指定保存建造物として平成二年（一九九〇）に指定されており、典型的な金沢の町家の外観を備えています。金沢の町家の特徴である風返し、袖卯建（ハデウダツ）、木虫籠（キムスコ）、軒下の下がりに見られる花頭形曲線、玄関の大戸の構えなどが昔のままの姿を残しています。

経田屋米穀店は、藩政末期に創業された金沢で最も古い米穀店のひとつで、正田善嗣家と同様、指定保存建造物として平成元年（一九八九）に指定されました。建物の後部は建て替えられていますが、通りに面した外観は昔と変わらず、都戸（ントミド）、軒下の下がり、二階の格子窓・袖卯建、軒先の風返しなどを残しています。

このような歴史的建築物の他に、通りの街並みに調和したデザインで新築された建物もあります。酒井酒店は昭和六〇年（一九八五）に新築され、金沢都市美文化賞を受賞しています。外壁は茶系の色彩とし、軒下の下がりや格子といった伝統的なデザインを取り入れた外観となっています。特に、間口の半分以上を占める一階車庫の扉は格子戸になっており、歴史的街並みにふさわしい老舗の風格を残しています。

街の歴史をそのままに伝える建築物に彩られた旧観音町通りは、米店、酒店、味噌店といった店が昔ながらの様相で軒を並べて商売をしており、そこに住む人々の生活の息づかいが感じられます。少なくなりつつあるこのような「こまちなみ」を、市民みんなのまちとしていつまでも大切にしていきたいものです。

まちのひと

中村 驍（たけし）
金沢市東山
一丁目二二―六

観音町は、古い商家が今も生活の中に息づき、江戸時代からの面影を残す金沢でも数少ない町のひとつです。そしてそこに住むお人々は静かにそして謙虚に、激動の日本の歴史とともに歩んできました。

商家と町家が混在しているのが観音町の特徴です。昭和五一年（一九七七）の秋、一丁目、二丁目、三丁目の各町内会を一つにして、約一二〇世帯の若者が中心となり観音町青壮年会（略称、観青会）を発足しました。今年で一八年目を迎える観青会は、祭礼時の青大獅子飾りや、バス旅行、花のプランター設置など年間数多くの行事を開催することにより、町民の団結を一層強めています。

このように「街づくりは人づくりから」をモットーに、老・壮・青・小を含めた町民一体で活気ある街づくり、こだわりの街づくりをめざしています。

まちのれきし

現在の東山一丁目と観音町三丁目、浅野川大橋詰の広見より南東へ卯辰山山麓の観音院に至る通りを挟む両側町。元和二年（一六一六）に観音院が卯辰山から移された時、四代藩主前田光高が観音院から浅野川大橋までの狭い道を拡張・造成し、同時にこの通りを観音町とした。

元禄九年（一六九六）の書上では本町・地子町の両方に町名があり、文政六年（一八二三）にも本町と地子町の混在地とある。文政六年に観音町、観音大工町、観音坂下に分割・町立てされた。

明治四年（一八七一）にはそれらと周辺の町を併せて整理改称され、観音町一丁目～三丁目・観音寺下町・四軒町・了願寺門前・観音院裏門前・豊国町となった。昭和四一年（一九六六）に観音町一丁目と三丁目の一部が東山一丁目となり、三丁目の残りが現在に至っている。

（参考文献『石川県の地名』平凡社）

あなたのまちの景観計画

（地域景観整備計画のあらまし）

●マスタープランとローカルプラン――

金沢市には、まち全体の景観形成の方向を示すマスタープランとして「金沢市都市景観形成基本計画」があります。現在の条例による指定区域や各区域の「景観形成基準」は、この計画に従い決められました。

しかし、それぞれの街並み、例えば「私の家の通りはどのような景観を目指すのか」という問題は、住民の皆さんの考え方や地域の事情により異なるので、様々な進め方を検討して行くことが必要です。

このような考え方により、金沢市では、指定区域ごとにアンケートや住民の方との話合いを行い、より具体的な街並み景観のあり方や道路などの整備手法の指針であるローカルプラン（地域景観整備計画）を順次作っていきます。

●街の特徴に応じた景観計画――

この計画の特徴は、第一に現在四五カ所ある指定区域をそれぞれ街の特徴に応じてさらに細分化し、屋根の形や玄関先の緑など、住民の皆さんがすぐに思い浮かべることが出来るような、具体的なものとしたいということです。

●住民の意見を反映した景観計画――

第二の特徴は、出来るだけ多く住民の皆さんと意見交換を行い、地域の歴史や問題点を出来るだけ反映したものとし、地域が一体となってよりよい景観づくりを進めるための計画にしたいということです。

●少し心がければ――

現在、住宅などの新築・改築の計画を進められる多くの方は、間取りや台所などの設備には気を使われますが、外観の色彩や樹木・塀垣等は後回しになりがちです。（実際、市の窓口へ建築計画を出される方の多くは「瓦や壁の色ははっきりと決まっていないと答えられます。）

また、その建物だけのデザインを考えたり、カタログだけで好みを選んだ方は、実際に完成したとき、街並みの中で調和のとれたものになるかは疑問です。

建築計画を考える前に、街に応じた具体的なデザインのポイントを知っていれば、敷地や用途の条件に応じ、様々な工夫が生まれてくるはずです。

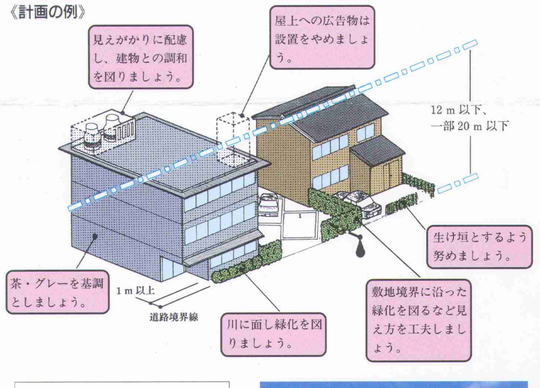
●より良いまちづくりへ――

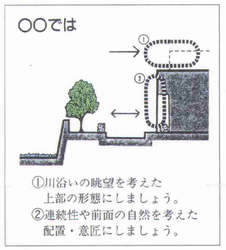
景観は、街の変化を写し出す鏡です。それぞれの街の景観を考えていくと、より良いまちづくりへの問題点が見えてきます。

住民の皆さんの意見がまとまれば、より総合的なまちづくりのルールである「地区計画制度」や「建築協定制度」を活用することも一つの方法です。

今回の地域景観整備計画づくりに、地域の多くの皆さんが参加され、街の景観を通じ改めてまちづくりについてお考えを頂くことが、金沢の魅力ある都市づくりにつながると思います。

《計画の例》





おしらせ

●よりよい景観をつくりあげていくためには、まちづくりのルールが必要不可欠であります。

このルール（景観形成基準）に基づき、市民の皆様が、自主的に互いに協力しあいながら優れた景観づくりに取り組んでいく必要があります。

このような市民の皆様の自発的なまちづくりをご支援するために、環境と住まいの相談窓口」を設けています。

まちづくりについて気がついたこと、わからないことなど、お気軽に利用してください。

●第5回魅力ある金沢の都市景観フォトコンテストを実施しています。（締切8月一日）

表情豊かな金沢、今まで知らなかった金沢、そして忘れかけていた金沢の景観をカメラを通して再発見してみませんか。きっと今までと違う金沢のよさ、魅力に出会い、より一層、理解を深めることに役立つことと思います。詳しくはまちなみ対策課までお問合せください。

多くの皆様のご応募をお待ちしています。

●景観対策課が、機構改革により4月から「まちなみ対策課」に名称変更し、2階から窓口センター3階（市民課）などのいる建物へ移動しました。いままで以上にご支援・ご協力をお願いいたします。次号からの参考にしたいと思います。皆さんの率直なご意見・ご感想、また景観についての情報などをお送りください。お待ちしております。

景観美カタログ

近代的街並みと歴史的街並みの調和のとれたまちづくりを目指す金沢市。
美しい景観の創出に貢献している建造物、広告物等の中から
市民が毎年、2つの賞を選んでいます。
昨年、賞に選ばれたものをここに紹介しました。

第16回都市美文化賞

街並みと調和した優れたデザインの建造物等を選奨します。
（主催：金沢都市美委員会）

割烹 利久（有松3丁目）
数寄屋建築でやすらぎの空間があります。

十代大樋長左衛門窯（橋場町）
江戸後期に建造された屋敷が忠実に復元されています。

金沢パークビル（広岡3丁目）
新しさと伝統を見事に表現しています。

すずかけ音楽堂（旭町）
植栽などが金沢大学の門前街の自然と調和しています。

三井海上金沢ビル（尾山町）
黒瓦をイメージとした切妻屋根、広告のデザインが調和しています。

気配り賞

清水誠三邸（円光寺1丁目）
妻入住宅でセットバックにより緑のスペースを楽しくしています。

旧主計町界わい修景整備（尾張町2丁目）
周辺の景観を考慮し、伝統を損なわない配慮がなされています。

土清水地内自転車・歩行者道（大桑町）
緑をいかしながら曲線をつけ、自然と調和しています。

井波屋旅館（十一屋町）
平入りで袖壁を取り入れており、格子も美しい。

三谷産業敷地内遊歩道（玉川町）
敷地を公共空間として提供し、周辺環境とよく調和しています。

湯涌温泉街路整備事業（湯涌荒屋町）
豊かな山並みを背景に美しい景観が創出されています。

第6回石川県広告景観賞

金沢市関係分
都市景観の向上に貢献する優れた屋外広告物を選奨します。
（主催：石川県、石川県屋外広告業協同組合）

丸豊グループ事業協同組合（北森本町）
藻模様の建物とサインのデザインが優れています。

金沢東警察署（元町2丁目）
警察署のイメージをやわらかくしています。

北菱電興㈱駐車場（古府3丁目）
駐車場をモニュメントとして活かし、夜景も美しく演出しています。

㈱森八（専光寺町）
老舗としての品位を漂わせるような洗練された雰囲気を醸しだしています。

清水建設㈱北陸支店（下本多町六番丁北陸電力工事現場）
建設現場の仮囲いに歴史絵巻を表し、楽しい雰囲気を醸しだしています。

㈱平和堂（諸江町）
形状・色彩に配慮し、デザインが優れています。

TREE FREE
トータル・エコロジー・バランスに優れた21世紀の紙「ツリー・フリー・ペーパー」（非木材紙）を使用しています。